

令和2年度豊岡市商工会経営発達支援計画評価委員会

経営発達支援計画評価委員会 開催状況

豊岡市商工会では令和2年度の経営発達支援計画評価委員会を開催し、実施した事業実績について評価をいただきました。
評価委員会からの意見は次のとおりです。

開催日 令和3年4月28日(木) 11:00~12:00
開催場所 豊岡市商工会館
出席者 外部委員(中小企業診断士)1名、(行政)1名
委員 1名

【評価委員会の意見】

経済動向、経営分析、事業計画策定、実施支援に関すること	コロナ禍であっても状況に合わせた事業の実施と継続性のある支援を行い、各項目において概ね目標達成が出来ている。今後、厳しい事業環境におかれる事業所が増加する中、状況を見極め、事業継続への支援にあたってほしい。
需要開拓、需要動向に関すること	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、出展予定していた展示会が軒並み中止されたのはやむを得ないことであるが、コロナ禍において経済情勢が変化している中、アフターコロナを見据えたニーズをしっかりと把握していく必要がある。
地域経済活性化に関すること	飲食業界はコロナ禍で大きく影響を受けている。感染拡大防止対策と社会経済活動の両立に向けた飲食店支援としてまちバルは有効であると感じる。まちゼミも含め、地域の賑わい創出に期待する。
支援力向上に関すること	コロナ禍により、社会情勢は大きく変化してきており、支援者は様々な対応力が求められている。事業者に寄り添った支援を継続していくため今後とも能力向上に努めていただきたい。

令和2年度 豊岡市商工会経営発達支援計画実施評価表

支援内容	2年度目標	2年度実績	目的	手段、活用方法、項目	評価
経済動向、経営分析、事業計画策定、実施支援に関すること					
地域内の経済動向に関する聞き取り調査	公表4回 会議4回 RESAS活用1回	公表4回 会議4回 RESAS活用なし	経営分析で有効活用、売上や利益向上に繋げる	分析、整理したものを、HPや会報に掲載 ・商工会景況調査 ・全国連景気動向調査 (経営状況、業界動向、景況感、資金繰り、経営課題等)	B
経営状況分析	分析セミナー2回 分析件数70者	分析セミナー2回、分析件数13件 補助金からの分析219件	経営状況を分析、アドバイスをを行い課題解決に繋げる	事業者選定、実態把握、情報の可視化 有益な助言、事業計画策定に役立てる (商品、サービス、技術、ノウハウ、労働力、財務内容等)	A
事業計画策定支援	経営革新塾1回	経営革新塾1回	事業プランの見える化、適正な目標設定を行い、経営課題の解決、販路開拓に繋げる	伴走型支援により、外部専門家等を活用して事業計画(経営革新・経営改善・事業承継・創業・販路開拓計画)を策定する 巡回・窓口相談→セミナー→研修会→専門家派遣→交流会での発表、共同プレスリリースでの新商品発表による個別相談という流れをとる	B
	事業計画策定研修1回	事業計画策定研修1回			D
	顧客管理塾1回	顧客管理塾1回			A
	事業計画60件	事業計画286件			C
	創業塾1回	創業塾1回			A
	創業計画10件	創業計画13件			A
	事業継続力強化計画策定講座1回 事業継続力強化計画(BCP)8件	事業継続力強化計画策定講座2回 事業継続力強化計画(BCP)16件			A
実施支援 (フォローアップ)	60者、頻度240回、売上増加30者、 売上総利益5%以上増加30	302者、頻度1者平均3回以上 売上増加及び売上総利益5%増加は 計画1年目のため実績計上なし	将来的に小規模事業者の自立を目指す	巡回指導から案件発掘と現状把握等モニタリングを行いながら、状況を判断して専門家派遣を行う	B
	成長企業期待フォーラム1回開催	1回ZOOM開催 42社視聴	計画した事業に取り組めるよう、計画的な支援計画を立て、伴走型支援を実施する	計画が着実に実施されているか、進捗状況や達成状況を巡回、窓口相談で定期的に把握する 目標と誤差がある場合、追加支援を検討	B
創業者フォローアップ	10社、頻度40、売上目標達成5	計画1年目のため実績計上なし	経営状況分析、事業計画策定、実施支援に計画的に取り組んでいく	支援先の事業者を選定し、年間スケジュールを設定する(指導については四半期ごとを原則、 早期安定化の場合は月1回以上)	B
需要開拓、需要動向に関すること					
需要動向調査	観光産業分野調査6者	見送り	需要を見据えた事業計画を策定、事業活動に取り組む	職員が現地調査を行う	D
	国際フロンティアメッセ調査3者	見送り			D
	アグリフードEXIPO調査4者	見送り			D
新たな需要開拓に 寄与する事業	展示商談会出展(BtoB)工業系 出展サボ5者、成約2件	出展サボ2者、成約3件	新規取引先を開拓し、持続的発展に繋げる	展示会、商談会への出店サポート プレスリリースを作成し、情報発信力を高める	A
	展示商談会出展(BtoB)食品系 出展サボ6者、成約3件	見送り			D
	情報発信支援(BtoC)プレス6者 取引増加件数3者	参加9社、掲載6社			A
地域経済活性化に関すること					
地域経済の活性化	まちゼミ開催	中止	まちゼミにより、個店繁盛、経営力アップを図る	専門知識を無料で講義、実技体験を提供する事業 日高のみでなく、出石でも開催	D
	まちバル開催	出石2回	まちバルにより、飲食店の集客支援を促す	事前購入チケットを使用し、様々な飲食店を楽しむイベント 日高地区、出石地区で開催	A
支援力向上に関すること					
他支援機関との連携情報交換	公庫(金融担当者会議) 年1回 金融機関 年2回 経営発達支援事業情報交換会 年1回 県連経営支援事例発表会 年1回 但職協情報交換会 年2回	公庫(金融担当者会議) 中止 金融機関 随時 経営発達支援事業情報交換会 不開催 県連経営支援事例発表会 WEB 但職協情報交換会 中止	最新情報や支援ノウハウ習得する	各支援機関とよりよい関係を築くため、専門テーマに即した研修を実施、新たな需要開拓を進める基盤を構築する	D
経営指導員等の資質向上	支援担当者会議 月1回 OJT若手育成 随時 個社支援手順のルール化 随時 外部研修への参加 年4回 支援先データベース化 随時 経営状況分析 随時	支援担当者会議 月1回 OJT若手育成 随時 個社支援手順のルール化 随時 外部研修への参加 随時 支援先データベース化 随時 経営状況分析 随時	日々の経営支援に役立て、資質向上を図る	研修等により個々の資質に応じた知識や情報を学び取り、経営支援に役立てる	A C B C B
事業評価に関すること					
経営発達委員会	-	1回開催	事業の妥当性、公平性、適当性を確保する	委員を選定し、公平公正な事業評価を目指す	

評価指標

- A: 目標を達成することができた。(100%以上)
- B: 目標を概ね達成することができた。(80%~99%)
- C: 目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)
- D: 目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)